

停電時前の備えに。。。



おすすめ!

■充電モード

現在ご使用のモードとは別に、災害時の備えとして時間帯に関係なく蓄電池への充電のみを行います。もしもの備えとして、フル充電状態になるまで動作を行います。動作終了後は待機状態となります。なお、家庭内負荷への電力供給（放電）は行いません。

■待機モード

充電モードにてフル充電後は、待機モードに切り替わります。時間帯に関係なく、充放電を行わないモードです。また、充放電を止めたい場合にも設定します。通常は使用しません。なお、待機モードにて24時間経過しましたら、直前に設定されていた自動運転モードに切り替わります。

■停電発生時の動作について

突然の停電でも、蓄電システムからの電源供給に自動的に※に切り替わります。その際、特定負荷分電盤より接続されている箇所への供給となります。

- ・昼間や晴天時には、太陽光発電と蓄電池を併用して電気を供給します。
- ・雨や曇りの日・夜間の停電でも、充電された蓄電池から電気を供給（放電）します。

※自動切り替え時に、電力供給が一瞬途切れますので、接続された家電製品によっては電源がオフになります。その際は、電源を入れ直してください。

災害時の太陽光発電のご使用方法

◆自立運転機能◆

停電時、太陽光発電システムで発電した電気を使用するには、以下の操作方法が必要となります。また、蓄電システムについては特別な操作は必要ありません。なお、使用方法は以下の通りですが、メーカーや機種により操作方法が異なる場合もございますので御注意ください。

<自立運転機能の使用方法>

- ①取扱説明書で「自立運転モード」への切り替え方法を確認する。
- ②主電源ブレーカーをオフにする。
- ③太陽光発電ブレーカーをオフにする。
- ④「自立運転モード」に切り替える。
- ⑤停電が復旧した際は、必ず元に戻す。
(自立運転モード解除⇒太陽光発電用ブレーカーをオン⇒主電源ブレーカーをオンの順で復帰)

※停電時の動作中に太陽光パワーコンディショナに【EO】あるいは【STOP】などの点検コードを表示する場合があります。その場合は、太陽光パワーコンディショナの「取扱説明書」に従って、太陽光発電を再度、自立運転に切り替えてください。

停電時の家電製品の利用について

■非常時兼用コンセントの定格出力は、2000V A（目安：2000W）です

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、非常時兼用コンセントで定格（2000VA）を超える電力を使用されると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、非常時兼用コンセントへの給電を停止します。

下記の家電製品は、非常時兼用コンセントへの接続を避ける、または注意してください。

| | | |
|------------------|------------|-------------------|
| 途中で電源が切れると困る家電製品 | 接続禁止 | 医療機器・デスクトップ型パソコン等 |
| 突入電流が大きい家電製品 | 動作しない場合がある | 掃除機・遠赤外線ヒーター・洗濯機等 |
| 消費電力が大きい家電製品 | 動作しない場合がある | 電子レンジ・電気ストーブ等 |

- ・途中で電源が切れると困る家電製品は接続しないでください。
- ・突入電流が大きい家電製品は一部動作しない場合があります。
- ・消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らす等、非常時兼用コンセントの定格を超えないように工夫してください。太陽光発電連携時の定格は1500VA（目安：1500W）になります。
- ・もし、安全装置が作動してしまった場合は、室内リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らして、システムを再起動させてください。
- ・エアコンやIHクッキングヒーターなどの200V家電製品は使用できません。